



IBM Community Japan

考える未来へ、仲間と

“共創ユースケースソン”

2022年9月期 参加ガイド

2022年7月

IBM Community Japan事務局

※当参加ガイドに記載の内容は、予告なく変更される場合があります。ご了承ください。





<<“共創ユースケースソン”プログラムとは>>

さまざまな枠を超えたワーキンググループの仲間と、アイデアのマッシュアップ(*1)を行い、自分だけでは思いつかないような新たな視点でのユースケースアイデアの創出を短期間で行うもの。

• 目的

- まだ世の中で使い方（ユースケース）が定まっていないような、比較的新しい世の中のシーズ（*2）について、枠を超えた仲間との化学反応とシーズ志向（*2）で、新しい使い方（ユースケース）の提案をすることで、IBM Community Japanの理念「未来を創るテクノロジーで豊かな社会を実現する」の具現化に向けた一歩とする。

• 参加資格

- IBM Community Japanのメンバーで、当プログラムの目的に賛同いただける個人。
- ご注意
 - 情報の入手のみを目的としたり、また特定の商品、サービス等の宣伝・営業活動を行っている と 判断される場合、そのメンバーの活動を停止いただきます。
 - テーマによって競合他社の方などとはご参加をお断りする場合があります。

• 参加対象者

- 技術者に限らず、テーマに興味のある方 / 枠を超えた仲間との共創に興味がある方 / ハッカソンやアイデアソンに興味がある方

• 実施形式：オンライン開催

• アウトプット（成果物）：ユースケース説明資料

※注意）あくまでも可能性としてのユースケースの創出で、開発キットを使っのプログラミングでMVP（Minimum Viable Product）を作成するものではありません。（プログラムスキルは不要です。）

*1：混ぜ合わせるの意で、IT業界ではすでにあるものを用いて新しいものを創出する”ことを意味する

*2：ニーズ志向(needs志向) に対してのシーズ志向(seeds志向)。ニーズ：顧客が商品やサービスに求めるもの。シーズ：商品やサービスが持つ価値や強み、テクノロジーや技術。



<<“共創ユースケースソン” 2022年9月期概要#1/2>>

・ スケジュール

- ・ 募集期間：2022年7月14日(木) ～ 2022年8月23日(火)
- ・ 活動期間：2022年8月29日(月) ～ 2022年9月16日(金)

活動のメインは以下3回のオンラインライブセッションで、それ以外の期間に、活動準備の連絡とSlackなどでのワーキンググループ内での意見交換などを実施します。

- ・ 1st : Initial session (9/2金 16:00 – 18:00)
- ・ 2nd : Deepening session (9/8 木 16:00 – 18:30)
- ・ 3rd : Final session (9/16 金 15:00 – 18:30)

・ ユースケース創出のテーマ



- ・ Boston Dynamics社の犬型ロボット“Spot”
- ・ エッジ AI

上記の活用を組みわせることで、ネットワーク不達環境にあっても自律的に動き回り、様々なセンサーで自律的に調査・分析し、時にはロボット同士の協働でより高度な分析と対応を可能にする可能性を秘めています。

※注意) あくまでも可能性としてのユースケースの創出で、開発キットを使っのプログラミングでMVP(Minimum Viable Product)を作成するものではありません。(プログラムスキルは不要です。)

・ テーマエキスパートのご紹介

テーマエキスパートは当該テーマについての専門家の立場から、当該テーマについてのレクチャーセッション、ユースケース発表の際の総括コメントを担当します。

セウエカリ シタル / Shital Sevekari

日本IBM (株) IBM Consulting事業本部 アソシエート・パートナー



- ・ 日系IT企業、外資系コンサルティングファームを経て、2021年7月に日本IBM(株)に入社
- ・ 20年以上、IT業界で事業開発からプロジェクトデリバリーまで様々な業務・工程を経験
- ・ 6年間、日本の地方銀行向けの大希望な貿易金融PF開発プロジェクトを担当
- ・ 異文化コミュニケーションを武器に海外ベンダーやオフショア開発拠点との連携を支援
- ・ 海外ベンダーと機能改善・スコープ・スケジュールから契約手続きまでの交渉、連携を担当
- ・ 現在、Edge PracticeのLeadとしてDigital Twin, Robotics, Factory of the FutureなどIBM Solutionの国内展開を推進



<<“共創ユースケースソン” 2022年9月期概要#2/2>>

・ ワーキンググループ(WG)とワーキンググループチーム(WG-Team)

- 当プログラムでの活動単位は基本的にワーキンググループ(WG)、もしくはワーキンググループチーム(WG-Team)での活動となります。
 - WGの人数は8名前後。
 - 各WGに1名以上のIBMファシリテーターが参加します。
 - WGはより活発な議論をするために、2つのチームに別れて議論をすることがあります。
 - 基本構成はWGには2つのWG-Teamで構成され、WG-Teamの人数は4名程度。
- 当プログラムでの最終アウトプットはワーキンググループ単位で作成いただきます
- IBMファシリテーターはメンバーを兼任することがあります。

・ 創出したアウトプット（成果物）

- 成果物は、成果発表会“GO UNiTE 2022”の会場(オンライン)にて、最終アウトプットの展示を行います。
- アウトプット（成果物）はIBM Community Japanのプログラム管理の中で創出されたもので、著作権は日本IBMに帰属しますが、活動メンバーは成果物をIBM Community Japanの活動趣旨に則り、当社への申請プロセスを経て二次的に利用できるものとします。（詳細は[メンバー規約](#)の第12条を参照）

・ プログラムで利用予定のツール

当プログラムでは、以下のツールを利用予定です。

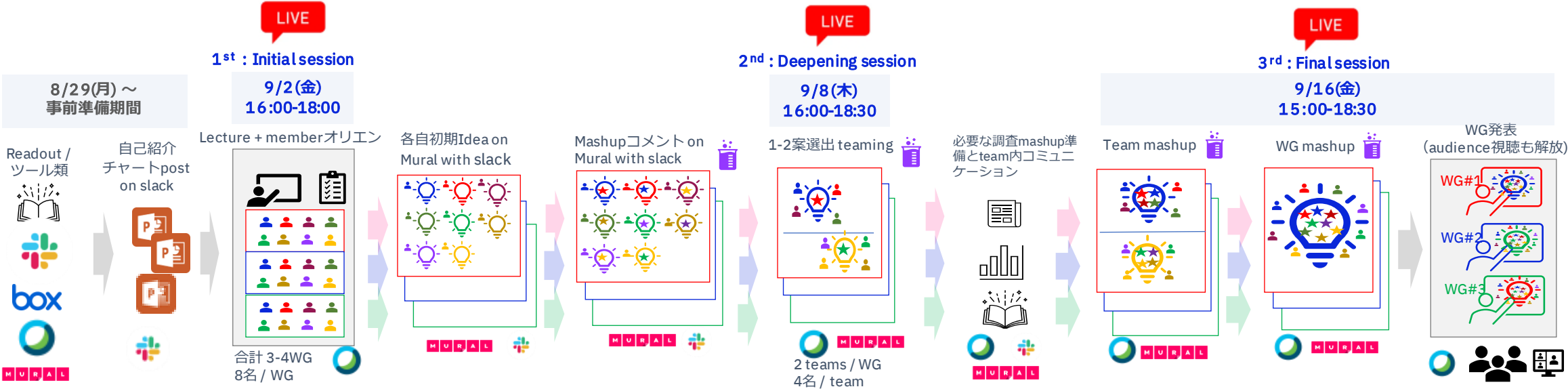
- Slack：WG内のメンバー同士でのchat、group chat、音声会話、画面シェアしながらの音声会話に利用
- BOX：WG内メンバーでのファイルのやりとりや、議事録などの簡易エディターと保存場所
- Webex：当プログラムのセッション日のオンラインセッション（メイン）やWGごと、WG-Teamごとのブレイクアウトセッションで利用予定。
- Mural：WGあるいはWG-Teamでのブレインストーミング用ホワイトボードツールとして利用予定

会社によっては、会社のネットワークから、あるいは会社のPCから上記ツールへのアクセスが制限されている場合もありますので、事前に確認し、制限がある場合には貴社内における利用申請等でプログラム当日に使えるように準備をお願いします。



<<“共創ユースケースソン” 2022年9月期 開催概要>>

- 以下の通り、事前準備・事前連絡期間とセッション期間で構成され、セッション期間中は3回のライブセッション(9/2, 9/8, 9/16)を行います。
- 短期間の活動のため、あらかじめセッションテンプレートをご用意し、それに沿って実施します。
- 青字の1st, 2nd, 3rdの3回のsessionは、オンラインライブ開催になりますので、必ずご参加ください。(ご参加の前提条件となります。)
- 最終日の3rd sessionでのWGごとのユースケースの発表
 - 参加メンバー以外の視聴参加の募集を予定しています。また、その際の動画は録画を撮らせていただき、後日IBM Community Japanのホームページにて公開を予定しています。参加メンバー以外とも含めて成果を通じて広くツナガル機会としてご活用ください。
 - WG間での相互コメントやテーマエキスパートによる総括コメントを受けます。



	8/29(月) ~ 事前準備期間	9/2(金) 1 st : Initial Session (ライブ参加)	9/6(火), 9/7(水)	9/8(木) 2 nd : Deepening Session(ライブ参加)		9/16(金) 3 rd : Final Session(ライブ参加)
Agenda	- Readout連絡 - PGM使用のツールの連絡 自己紹介チャート post on slack	- PGM全体オリエン - 機能可能性プレスト (general) session - テーマ Lecture session - 自己紹介BO session - 機能可能性プレスト (テーマ) BO session - Guide for next	- Initial idea post on Mural with slack - Mashupコメント on Mural with Slack	“Deepening”の進め方オリエン - ユースケース説明 + QA BO session - Idea select + teaming BO session - Idea refine + 宿題担当分け BO session - Guide for next	メンバー内自主的コミュニケーション for Final Session	“Final”の進め方オリエン - WG-Team案まとめBO session - WG案一本化BO session - WG案説明session - 総括コメント - クロージング

表中のBO sessionはBreak-Out sessionのことです。



<<“共創ユースケースソン” 2022年9月期参加方法>>

- **IBM Community Japanのメンバーに登録** ([こちら](#)からご登録をお願いします。)
 - IBM idを取得されていない方は、先にIBM idのご登録をお願いします。
- **共創ユースケースソン 2022年9月期 への参加申込**
 - [こちら](#)のお申し込みフォームよりお願いします。
- **共創ユースケースソン 参加お申し込みにあたって**
 - 以下3回のsessionは、オンラインライブ開催になりますので、**必ず**ご参加ください。(ご参加の前提条件となります。)
 - 1st : Initial session (9/2金 16:00 – 18:00)
 - 2nd : Deepening session (9/8 木 16:00 – 18:30)
 - 3rd : Final session (9/16 金 15:00 – 18:30)
 - IBM Community Japanの[メンバー規約](#)を今一度ご確認ください。
 - ご不明点がございましたら、icjofc@jp.ibm.comまで、ご連絡ください。